



命・絆・元気の道
そして東紀州をひとつに

紀勢自動車道・熊野尾鷲道路の ストック効果

令和8年10月

東紀州地域高速道路整備効果検討会



三重県



尾鷲市



熊野市



紀北町



御浜町



紀宝町



中日本高速道路（株）



国土交通省



目 次

～ 近畿自動車道紀勢線の整備状況 ～

～紀伊半島をぐるっとつなぐ近畿自動車道紀勢線～
東紀州地域がぐっと近くに！

．．．．．P 3

～ 近畿自動車道紀勢線のストック効果 ～



地域安全保障のエッセンシャルネットワーク

～ネットワーク形成による交通量の増加～

高速道路の開通に伴い地域間交流が活発に！

．．．．．P 4

～長年、地域を悩ませた大雨による災害～

陸の孤島からの脱却！

．．．．．P 5

～南海トラフ地震への備え～

津波から地域住民の“いのち”を守る！

．．．．．P 6

～高度な医療でバトンタッチ～

“いのちのリレー”をバックアップ！

．．．．．P 7

～安全・安心な道路利用に～

高速道路の延伸に伴い交通事故が年々減少！

．．．．．P 8

～地域の魅力向上を支援～

I・Uターン世帯や高校生の地元就職が増加！

．．．．．P 9

～4車線化により機能を強化～

高速道路の安全性・信頼性、使いやすさを向上

．．．．．P 10



観光立国の推進

～都市部から多くの観光客がわが町に～

観光入込客数・観光消費の増加を牽引！

．．．．．P 11

～大自然を求め遠方からの観光客が増加～

キャンプ場へ広域からの集客拡大！

．．．．．P 12

～アクセス向上により気軽に大迫力の花火を体感～

人気の花火大会に県外からの来場者が増加！

．．．．．P 13

～魅力的な観光をサポート～

多様な観光・宿泊施設を結び魅力度が増大！

．．．．．P 14

～来訪者のアクセス向上やロケット輸送に貢献～

宇宙まちづくりとの観光連携が期待！

．．．．．P 15

～地域の特長を生かしたまちづくりを支援～

「スポーツ交流地」として全国からの来訪が拡大！

．．．．．P 16



経済成長・物流強化

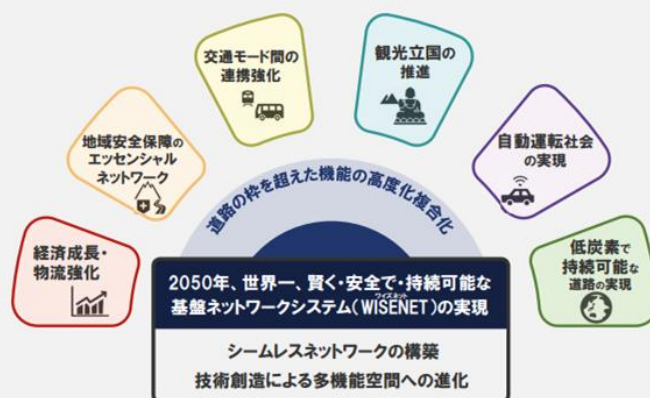
- ～荷痛み軽減・安定輸送が実現～
三重南紀みかんの海外販路拡大を支援！ P 17
- ～迅速・安定供給可能な物流ルートの実現～
海産物の国内外の販路拡大を支援！ P 18
- ～地域企業が開通効果を実感～
企業活動・業績がプラス！ P 19
- ～精密製品の安定輸送が実現～
事業拡大と雇用創出を支援！ P 20

ワイズネット WISENET2050

“2050年、世界一、賢く・安全で・持続可能な基盤ネットワークシステム”を
 WISENET(ワイズネット)※と位置づけ、その実現のための政策展開により、
 新時代の課題解決と価値創造に貢献します。

ワイズネット
 WISENET: World-class Infrastructure with 3S(Smart, Safe, Sustainable) Empowered NETWORK

ワイズネット WISENETのコンセプト



ワイズネット WISENETの要点

- シームレスネットワークの構築
 サービスレベル達成型の道路行政に転換、シームレスなサービスを追求します。
- 技術創造による多機能空間への進化
 国土を巡る道路ネットワークをフル活用し、課題解決と価値創造に貢献します。

求められる役割

- 経済成長・物流強化
- 地域安全保障のエッセンシャルネットワーク
- 交通モード間の連携強化
- 観光立国の推進
- 自動運転社会の実現
- 低炭素で持続可能な道路の実現
- 道路の枠を超えた機能の高度化複合化

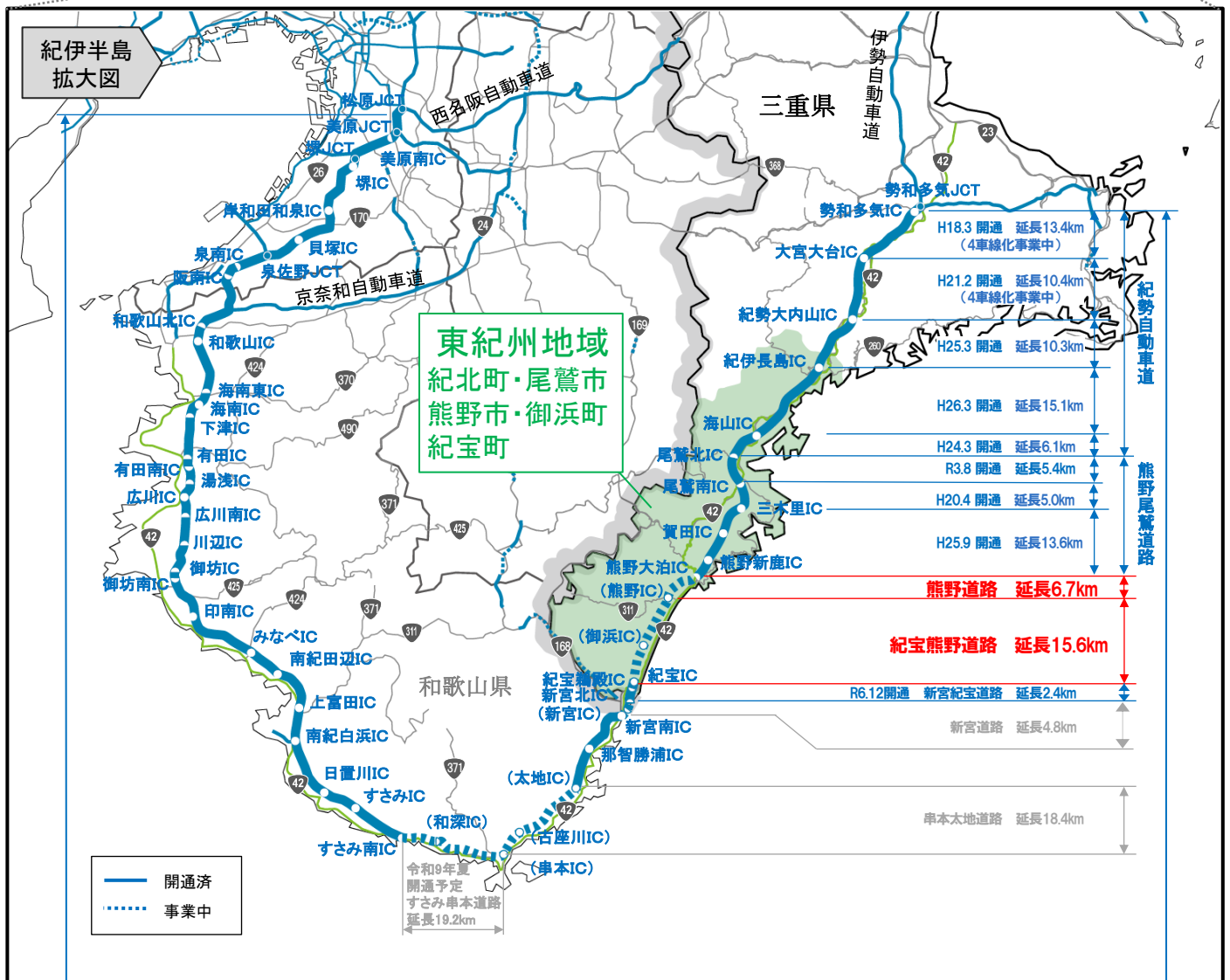
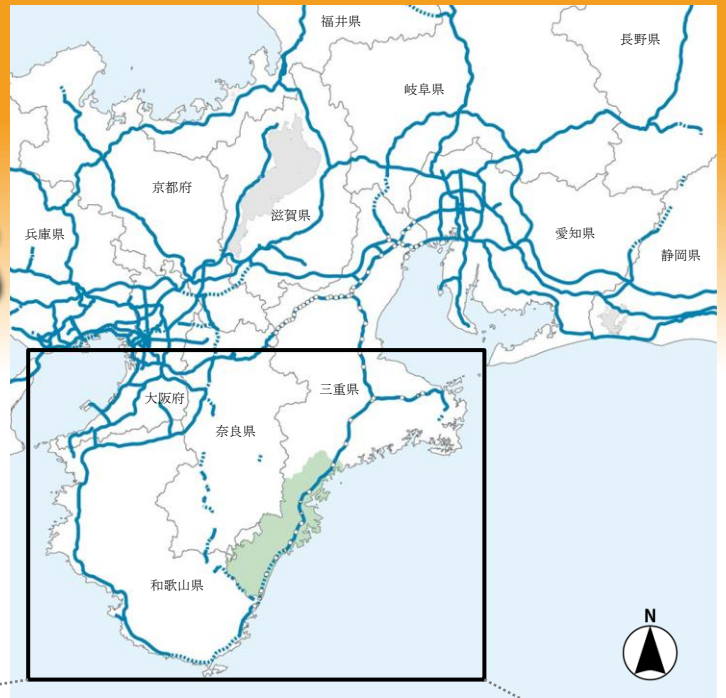
これからの高規格道路に求められる役割を発揮していくため、
 これまでの枠組みを超えた政策展開を図ります。

WISENET2050



～紀伊半島をぐるっとつなぐ
近畿自動車道紀勢線～

東紀州地域が ぐっと近くに！



※()インターチェンジ名称は仮称
※ネットワークはR8年3月末現在

～ネットワーク形成による交通量の増加～ 高速道路の開通に伴い 地域間交流が活発に！

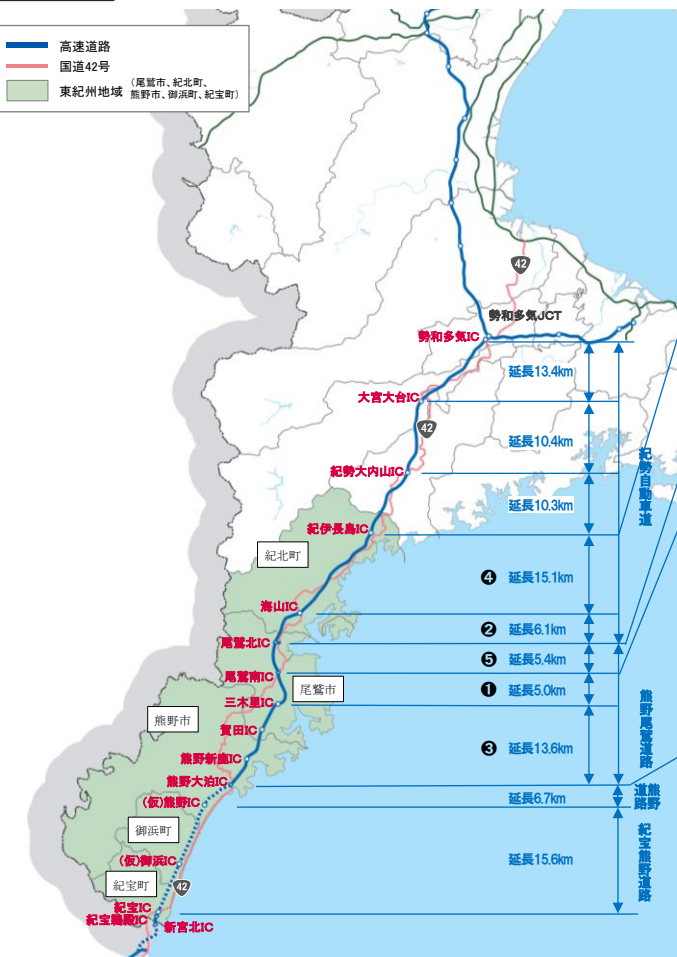
熊野尾鷲道路 尾鷲南IC付近(尾鷲市)

- ❖ 紀勢自動車道・熊野尾鷲道路の開通に伴い、東紀州地域の交通量は最大1.5倍に増加。
- ❖ 移動時間が短縮したことで、特に尾鷲市～熊野市間の交通量が大幅に増加するなど、地域間交流が活発に。

紀勢自動車道
熊野尾鷲道路
位置図

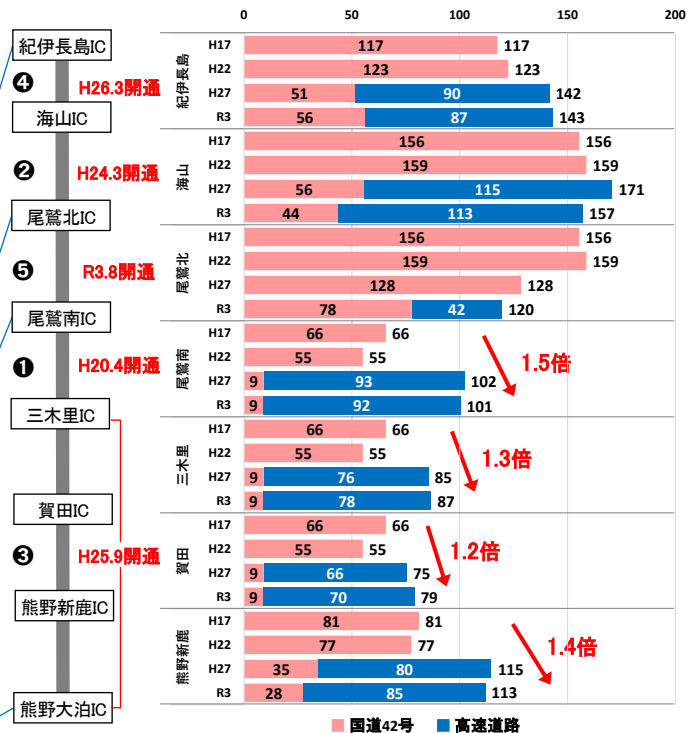


■ 高速道路
■ 国道42号
(尾鷲市、紀北町、
熊野市、御浜町、紀宝町)



IC間の交通量の変化

百台/日



※道路交通センサより作成

- ・高速道路で来られるので楽でした。所要時間は以前よりも1時間は短縮したと思います。(豊田市在住)
- ・高速道路ができたので東紀州地域へ訪れました。高速道路がなければ遠いので来なかったと思います。(名古屋市在住)



※観光客へのヒアリング結果より作成

2026.10



～長年、地域を悩ませた大雨による災害～
陸の孤島からの脱却！



平成16年台風21号による国道42号の道路崩壊（紀北町）

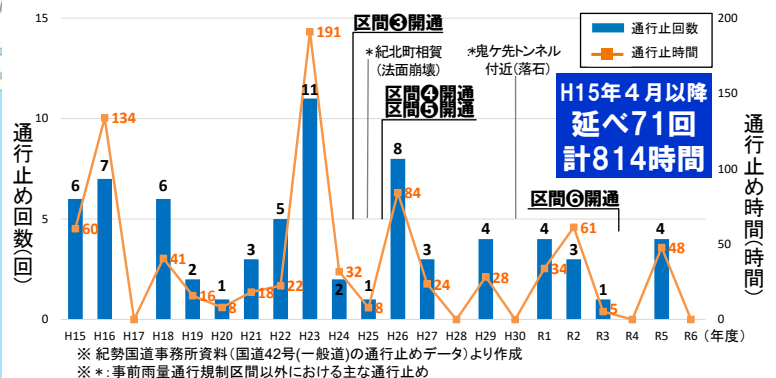
- ❖平成15～令和6年度の過去22年間における事前雨量通行規制区間の通行止めは延べ71回、814時間。
- ❖一方で、紀勢自動車道及び熊野尾鷲道路では事前雨量通行規制による通行止めはほぼ発生しておらず、地域経済活動や地域間交流を維持するとともに、国道42号の代替道路として機能を発揮。



H25年法面崩壊(紀北町相賀)

H23年道路崩壊(熊野市大泊町)

事前雨量通行規制区間における通行止め回数と時間



尾鷲市は国道42号事前雨量通行規制区間に挟まれ、**通行止になると陸の孤島**になっていました。現在では国道42号が通行止めになっても**高速道路があるので、医療・物流・人の移動などすべての面において安心**です。

「尾鷲市 市長公室の声」

落石発生による通行止めの影響 (H30.9.30)

平成30年9月30日の台風24号の際には、落石が発生したことで、**国道42号 鬼ヶ城トンネル付近が14時間通行止となり、尾鷲～熊野間の往来が途絶**



熊野尾鷲道路 熊野大泊IC付近での渋滞状況



通行止め時の商品陳列状況(熊野市)

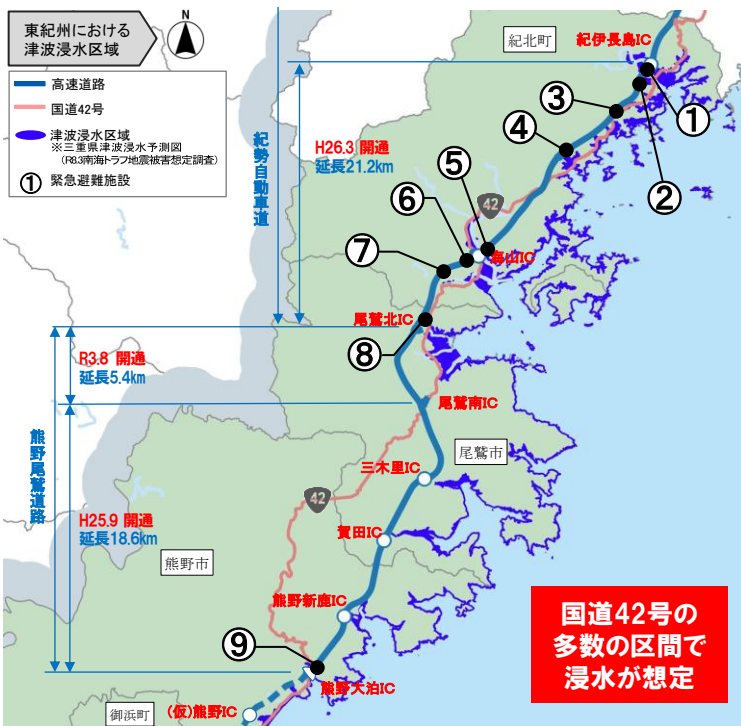
肉、魚、惣菜、葉物野菜、豆腐、牛乳などの日持ちしない商品は全く陳列できない状態となり、お客様にご迷惑をかけてしまいました。
熊野道路が開通すれば、確実な配送ができると期待しています。

「チェーン店Aの声」

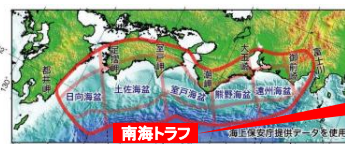
～南海トラフ地震への備え～ 津波から地域住民の “いのち”を守る！

緊急避難施設での訓練状況（紀北町）

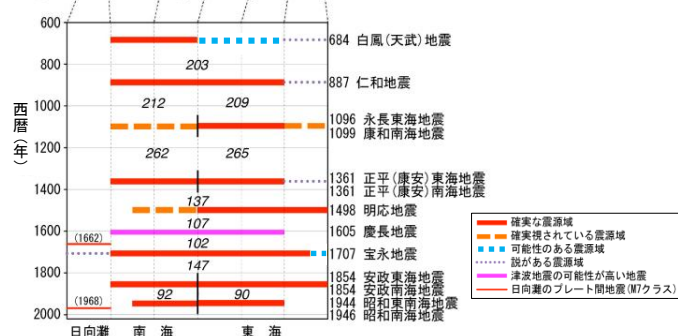
- ❖ 南海トラフ地震による津波被害の備えとして、高台に位置する高速道路の**管理用通路等を緊急避難施設として整備し、自治体と連携を図り活用**。
- ❖ 紀勢自動車道・熊野尾鷲道路では、**全部で9箇所の緊急避難施設を整備**することで、地域住民の命を守る。



過去の大規模地震発生状況



南海トラフ地震が
30年以内に
60～90%程度の
確率で発生



※イラスト 文部科学省
地震調査研究推進本部「南海トラフの地震活動の長期評価(第二版)」(H25.5.24)
※発生確率 文部科学省
地震調査研究推進本部「活断層及び海溝型地震の長期評価結果一覧」(R8.1.14)



※提供：尾鷲市 撮影：太田金典氏

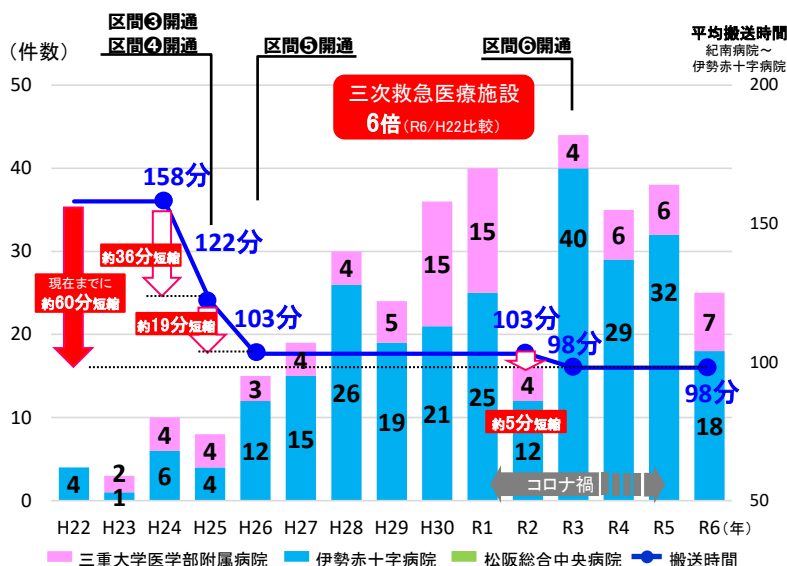
～高度な医療でバトンタッチ～ “いのちのリレー”を バックアップ！

熊野尾鷲道路を通行する救急車両（尾鷲市）

- ❖ 紀勢大内山IC以南の高速道路開通前と比較し、**紀南病院から伊勢赤十字病院までの転院搬送時間が約60分短縮**。
- ❖ 急カーブや急勾配区間の多い国道42号を利用した場合に比べ、**横揺れや前後揺れの少ない高速道路での搬送**が出来るようになり、**患者や搬送者への負担も軽減**され、高速道路の整備により高次医療を受けやすい環境に変化。



紀南病院から伊勢赤十字病院への転院搬送時間の変化と 三次救急医療施設への転院搬送件数の推移



熊野尾鷲道路（Ⅱ期）の開通により、感覚的には5～10分の時間短縮があり、患者への負担軽減に大きな効果がありました。加えて、運転する隊員の立場からしても、高速道路を走ることによって信号がなく、沿道からの車の出入りによる危険性も少ないため、ストレス軽減に大きく繋がっています。



〔熊野市消防本部の声〕

※R7年度ヒアリング結果より作成

※紀南病院～伊勢赤十字病院所要時間：
道路交通センサス及び熊野市消防本部提供の実績値より作成

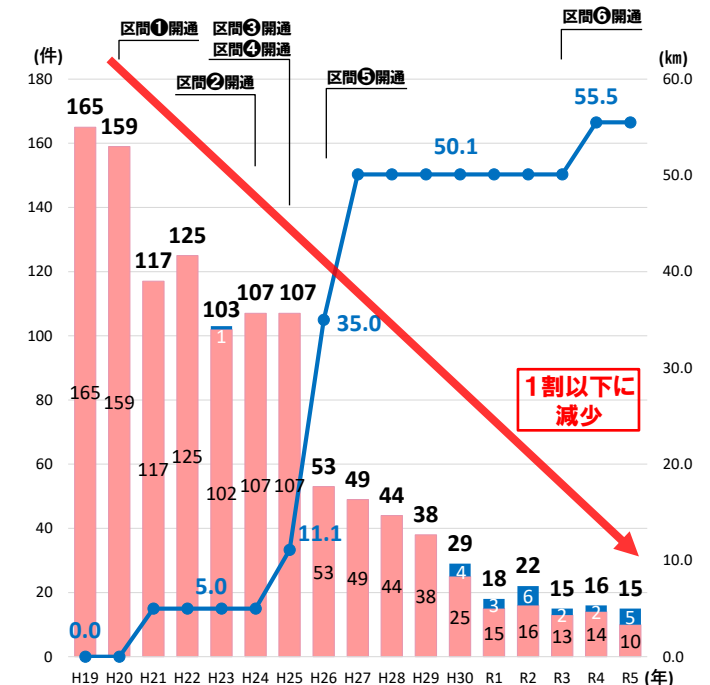
～安全・安心な道路利用に～ 高速道路の延伸に伴い 交通事故が年々減少！

国道42号で発生した交通事故による通行止の状況(尾鷲市)

- ◆ 高速道路の延伸に伴い、交通(死傷)事故は年々減少しており、平成19年と比較し令和5年は1割以下に減少。
- ◆ 熊野道路・紀宝熊野道路の整備により、更なる交通環境改善に期待。



高速道路整備と交通(死傷)事故件数の推移



出典：各年のイタルダデータ(紀勢大内山IC～熊野大泊IC間と並行する国道42号を集計)

高速道路開通に伴い、国道42号の交通事故件数が減少しました。



出典：地元警察署へのヒアリング結果 [尾鷲警察署の声]



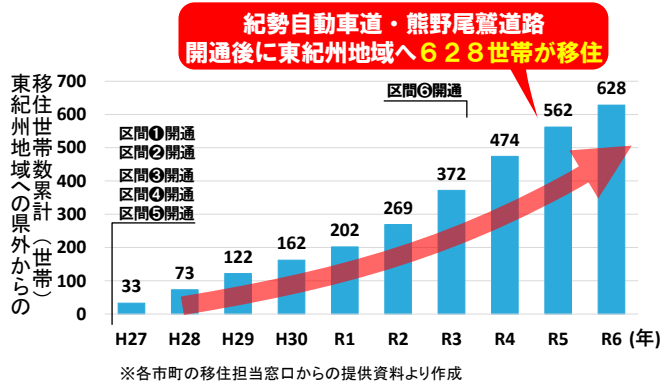
～地域の魅力向上を支援～ I・Uターン世帯や 高校生の地元就職が増加！

移住体験住宅「みやか」（尾鷲市）

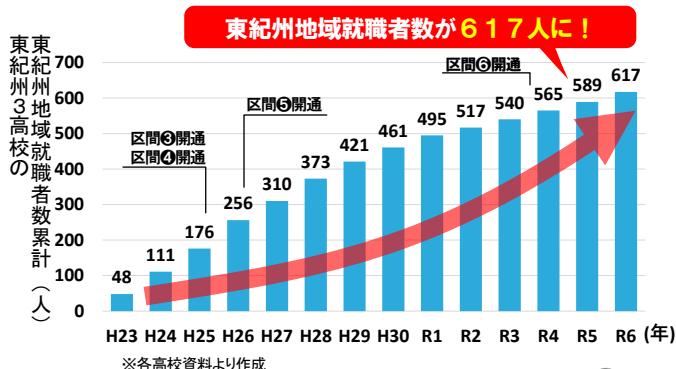
- ◆三重県・東紀州地域の市町は、I・Uターンなどの移住による地域おこしを目指し、移住体験や現地見学会など各種取組を実施。
- ◆高速道路の整備による広域的な移動利便性の向上や通勤先の選択肢拡大などを背景に、移住世帯は年々増加傾向にあり、東紀州地域全体で平成27年からの10年間で628世帯が移住。移住・定住の受け皿となる空き家バンクの成約件数も増加傾向。
- ◆東紀州地域の高校（尾鷲・木本・紀南）では、東紀州地域内の企業へ就職する卒業生が着実に増加。



東紀州地域への移住世帯数の推移（累計）



東紀州地域にある高校（尾鷲・木本・紀南）の地元就職者数（累計）



尾鷲方面からの進学者の増加や高校を訪問する企業が増加しています。また、他地域へのアクセス向上により、東紀州地域の企業に就職する生徒が増えました。

〔木本高校進路指導担当の声〕



～4車線化により機能を強化～

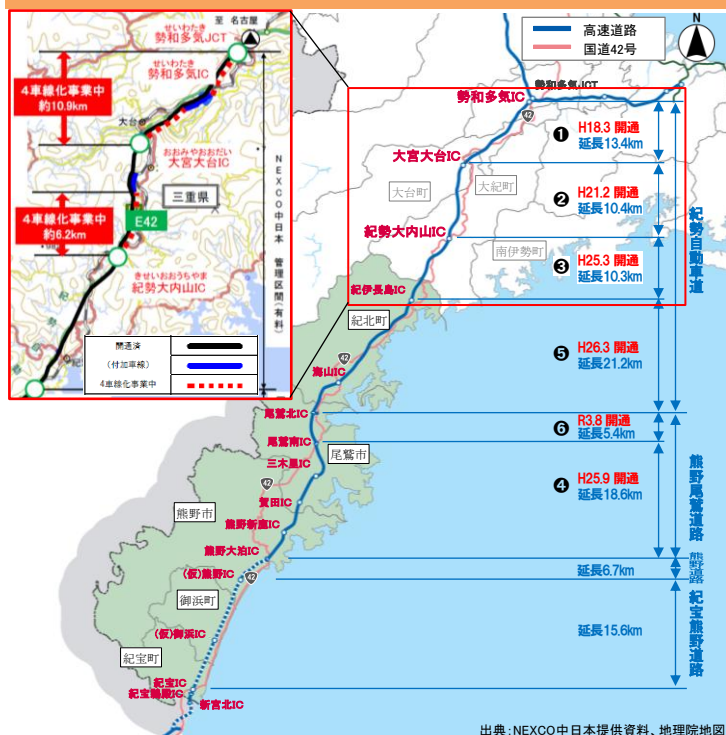
高速道路の安全性・信頼性、 使いやすさを向上



R8.6.13
E42 紀勢自動車道 4車線化事業 起工式
場 所：大紀町コンベンションホール(三重県度会郡大紀町崎2200番地1)
主催者：中日本高速道路株式会社(NEXCO中日本)名古屋支社、三重県
出典：NEXCO中日本提供

- ❖ 令和8年6月、紀勢自動車道 勢和多気IC～紀勢大内山IC間における4車線化事業の起工式を開催。
- ❖ 4車線化により、速度低下の軽減や混雑が緩和され、所要時間の短縮と時間信頼性を向上。
- ❖ また、長期間の通行止めを伴わない維持管理を可能とするとともに、災害時のリダンダンシーを確保し、地域の安全性・防災力を向上。

勢和多気IC～紀勢大内山IC間 4車線化の事業許可区間



出典：NEXCO中日本提供資料、地理院地図

速度低下の軽減

低速走行車両の割合
(規制速度-10km/h以下)



出典：NEXCO中日本提供資料
※東海北陸道 白鳥IC～飛騨清見IC間の4車線化による速度低下の軽減例

安全性・ネットワーク信頼性の向上

【重大事故の防止】



対向車線への飛び出し事故
4車線化

中央分離帯が設置されることで、対向車線への飛び出しが防止

【維持管理工事への対応】



通行止めによるトンネル内の点検
通行止めによる舗装補修工事
4車線化
長期間の通行止めが不要に

出典：NEXCO中日本提供資料

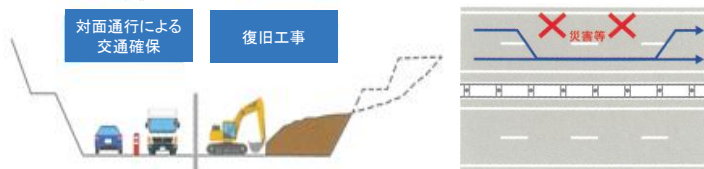
4車線化のイメージ



出典：NEXCO中日本提供資料

機能強化による災害時のリダンダンシーの確保

4車線化されると、災害時、対面通行などにより交通を確保しながら、復旧作業が可能に



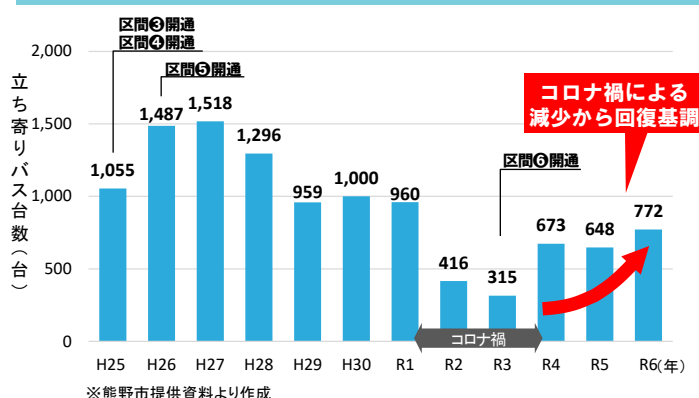
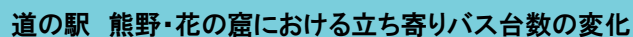
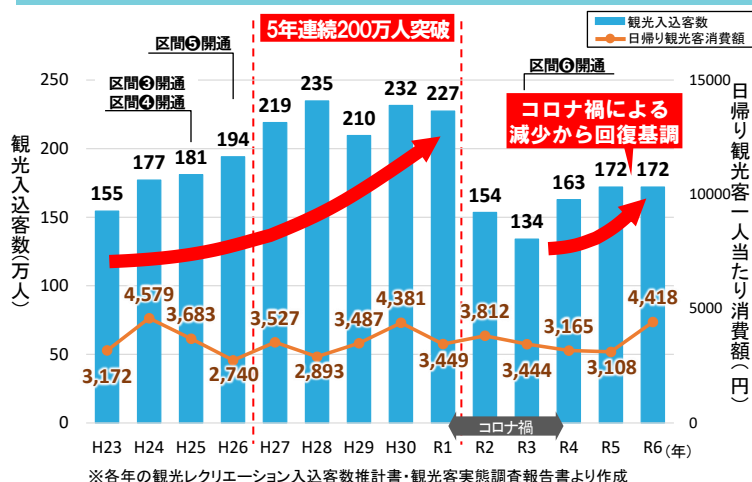
※被災状況や区間によっては対面通行できない場合もございます。

出典：NEXCO中日本提供資料

2026.10

**観光入込客数・観光消費
の増加を牽引!**

- ❖ 高速道路の開通が、東紀州地域の観光入込客数の増加を牽引。
- ❖ 熊野市の道の駅 熊野・花の窟におけるツアーバスの立ち寄り台数も、コロナ禍以降回復傾向にある。
- ❖ その結果、令和6年の日帰り観光客による消費額が、紀勢自動車道全線開通前の平成23年と比較して約57億円増加。



イベントに参加する観光客で賑わう
三重県立能野古道センター



散策する観光客で賑わう 鬼ヶ城

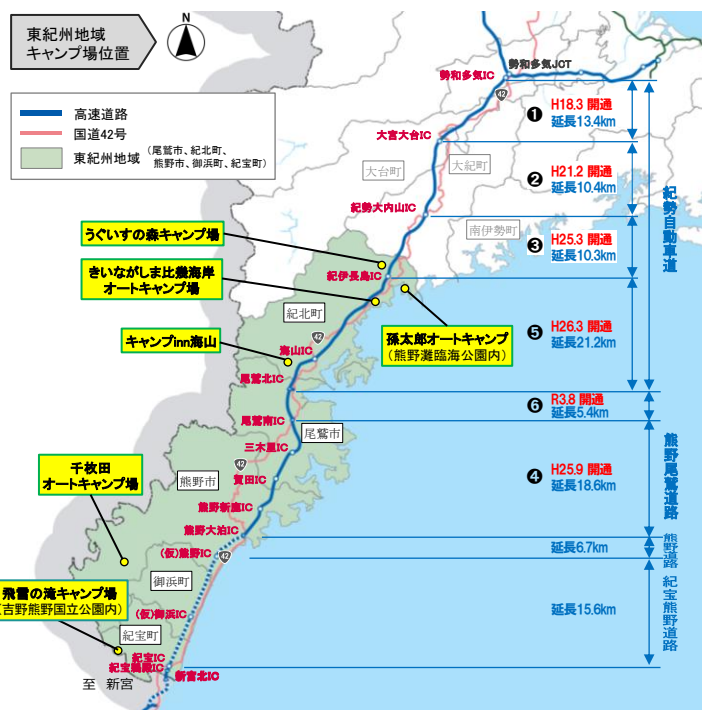
～大自然を求め遠方からの観光客が増加～ キャンプ場へ 遠方からの集客拡大！



飛雪の滝キャンプ場（紀宝町）

❖ 東紀州地域には、滝壺や川遊び、海釣り体験など、大自然を満喫できるキャンプ場が多数存在。

❖ 紀宝町にある飛雪の滝キャンプ場では、高速道路の整備によるアクセス性の向上により、来訪機会が拡大し、近畿・中部・関東方面など遠方からの来訪も多い。



高速道路の延伸により遠方からのお客様が多くなっています。更なる延伸に期待しながら、世界遺産熊野古道や吉野熊野国立公園など地域特有の資源を活かした取組を進めて、更なる地域活性化につなげたいです。

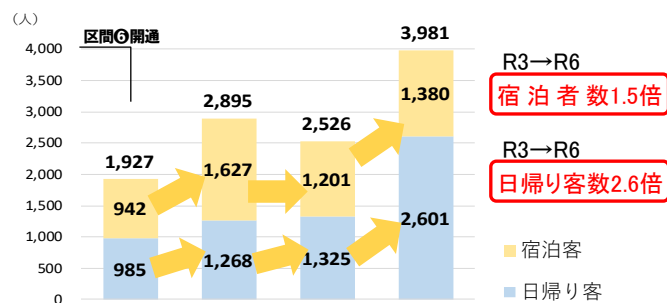


※R4年度ヒアリング結果より作成
[飛雪の滝キャンプ場 管理者]



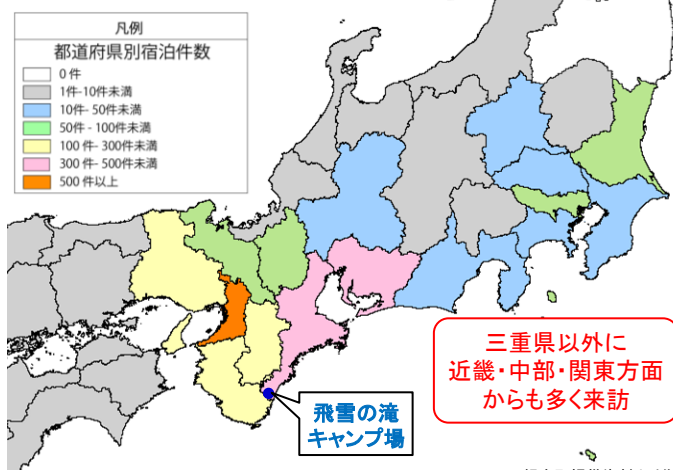
飛雪の滝キャンプ場内のテントサウナ

飛雪の滝キャンプ場 8月の利用者数の変化



※R3年8月27日～31日は緊急事態宣言発令に伴い臨時休業 ※紀宝町提供資料より作成

飛雪の滝キャンプ場宿泊者の居住地(令和6年度)



三重県以外に
近畿・中部・関東方面
からも多く来訪

※紀宝町提供資料より作成



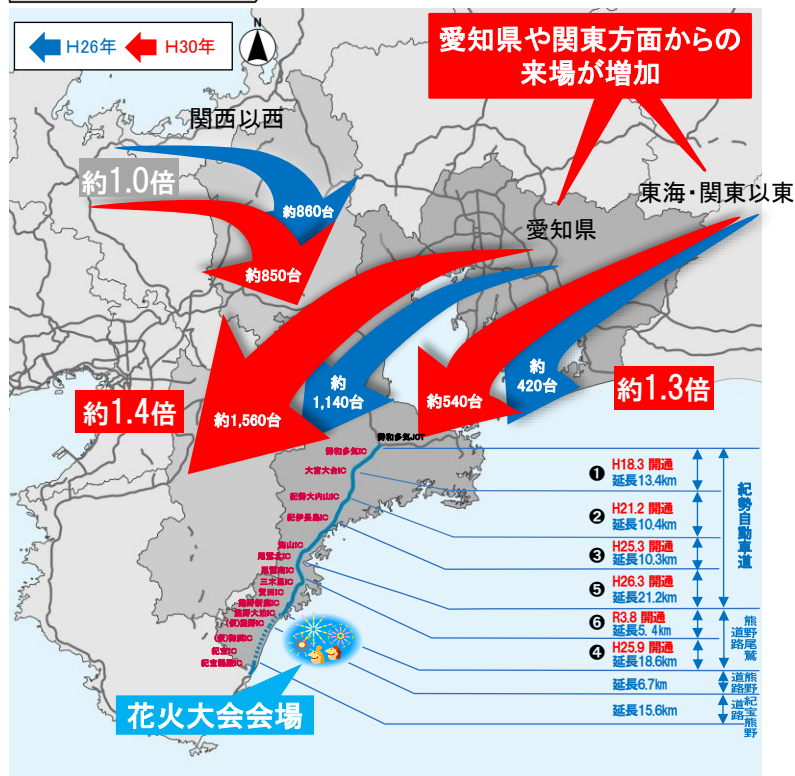
～アクセス向上により気軽に大迫力の花火を体感～ 人気の花火大会に 県外からの来場者が増加！



熊野大花火大会（熊野市）

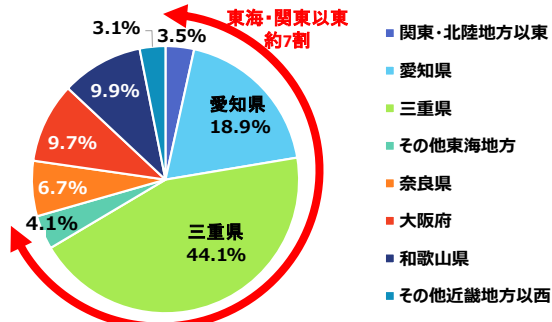
- ❖ 花火大会ナビの「2025 この夏行きたい日本全国を代表する有名花火大会10選」で第7位、クラブツーリズムの「2024年花火大会東西人気ランキング」で西日本第1位の人気の熊野大花火大会。
- ❖ 高速道路の開通により気軽に行きやすくなったこともあり、愛知県や関東方面からの車での来場が約1.3～1.4倍に増加。
- ❖ コロナ禍からの再開後、令和6年・7年には観光客数が2年連続で10万人超。

熊野大花火大会への
来場圏域（H30年/H26年）



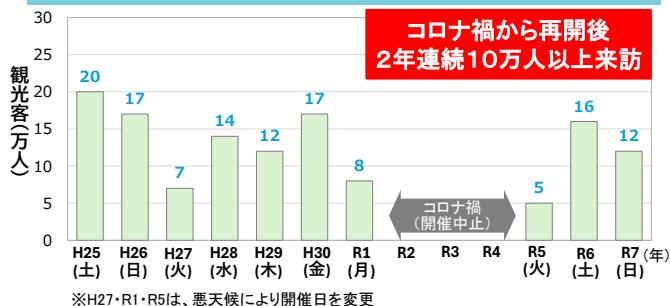
※紀勢国道事務所による尾鷲南IC入口交差点におけるナンバープレート調査結果より作成
※調査対象車両は乗用車

令和6年熊野大花火来場者の居住地割合



※KDDI・技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」提供データより作成

花火開催日の観光客数



高速道路開通後、特に関東・東海地方からの来場が増えています。
熊野道路が早期に開通することで、もっと多くの方に熊野大花火の魅力を感じていただきたいと思います。





～魅力的な観光をサポート～

**多様な観光・宿泊施設を結び
魅力が増大！**

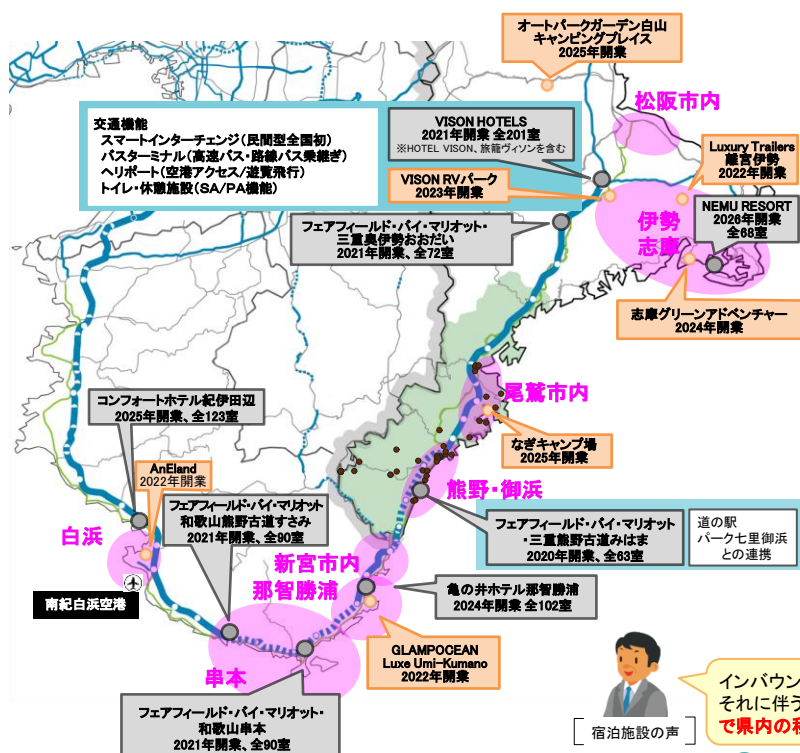
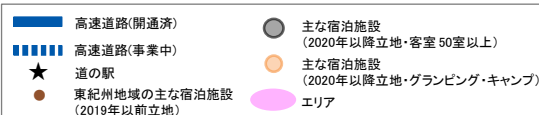


令和2年10月にオープンした宿泊特化型ホテル（御浜町）

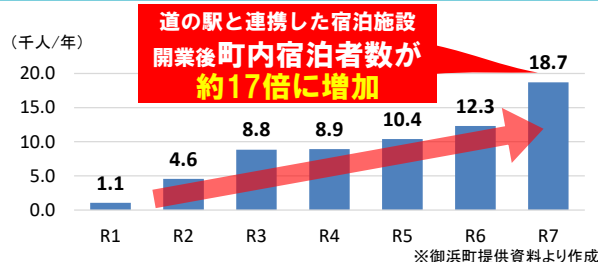
- ❖ 紀伊半島の高速道路周辺には、世界遺産熊野古道や那智の滝、伊勢志摩などの主要観光地が存在し、多様な宿泊施設の立地が進むなど、観光ポテンシャルが高い。
- ❖ 高速道路整備により、観光周遊における移動時間の短縮や定時性の確保が図られるとともに、宿泊地選択や旅行設定の自由度も増加。
- ❖ 宿泊特化型である「フェアフィールド・バイ・マリオット・三重熊野古道みはま」では、隣接する道の駅との連携により、地域周遊の拠点として機能している。

近年の宿泊施設立地状況

主な宿泊施設立地状況



御浜町内宿泊者数の推移



※御浜町提供資料より作成

道の駅 パーク七里御浜と隣接宿泊施設との連携



観光案内所
(外国語対応インフォメーションセンター)

地元食材を使用して道の駅で調理したモーニングBOX

インバウンド向け、熊野大花火と併せたものなど、多様なツアーが開催され、それに伴う宿泊者も一定数見られます。**高速道路が熊野まで開通したことで県内の移動時間が短め、観光しやすくなっていると感じます。**

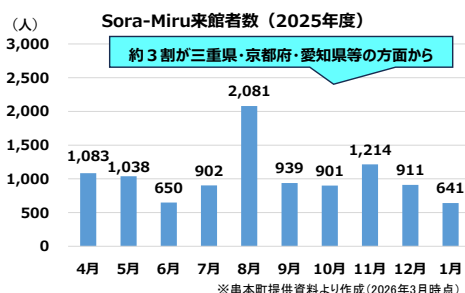
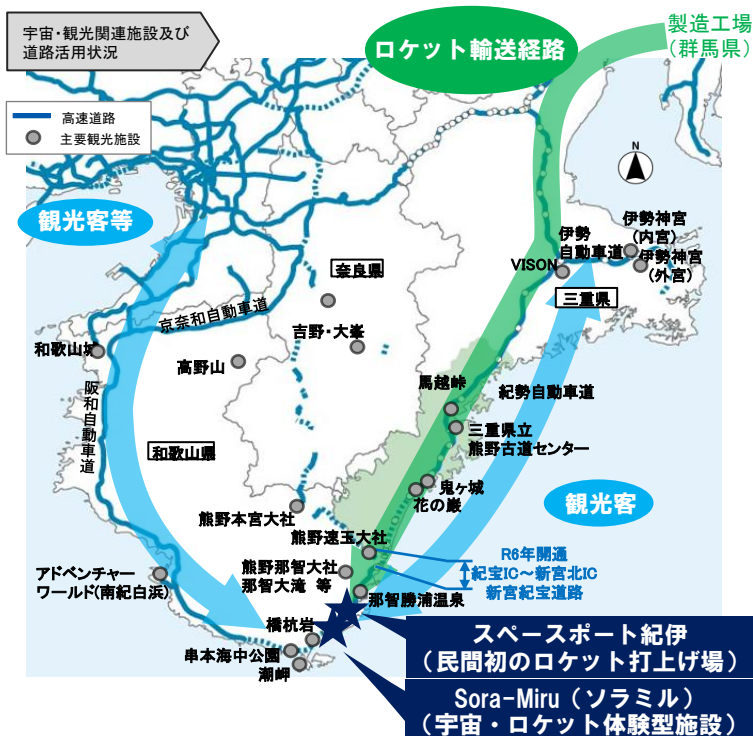


～来訪者のアクセス向上や
ロケット輸送に貢献～

宇宙まちづくりとの 観光連携が期待！

ロケット「カイロス」の打上げ（和歌山県那智勝浦町）

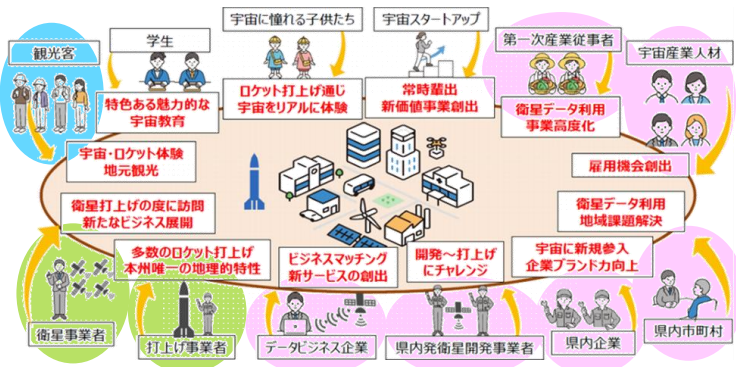
- ❖ ロケット打ち上げに適した立地特性と高速道路の整備により、国内初の民間ロケット打ち上げ場「スペースポート紀伊」が和歌山県串本町、那智勝浦町付近に整備された。
- ❖ 2025年4月、串本町内に宇宙やロケットの体験型施設「Sora-Miru(ソラミル)」が開業し、三重県・愛知県方面等からも訪館。
- ❖ 今後、ロケット発射イベントやSora-Miruを活した観光面での連携が見込まれる。



宇宙・ロケット体験型施設
「Sora-Miru(ソラミル)」
(串本町)

和歌山県 宇宙アクションプラン ～スペースエントランス構想～

将来の成長産業の候補となる宇宙産業を集積するための行動指針として、和歌山県及び紀南地域10市町村が共同で策定。



出典:和歌山県 宇宙アクションプラン ～スペースエントランス構想～ 令和7年8月



ロケット打上げ時の様子(那智勝浦町)

ロケット打上げ効果を含め町内への日帰り客・宿泊客ともに増加しており、**高速道路整備による広域回遊の促進**を感じています。観光客の選択肢が増えるとともに、多様な形態による観光誘客につなげていければと考えています。



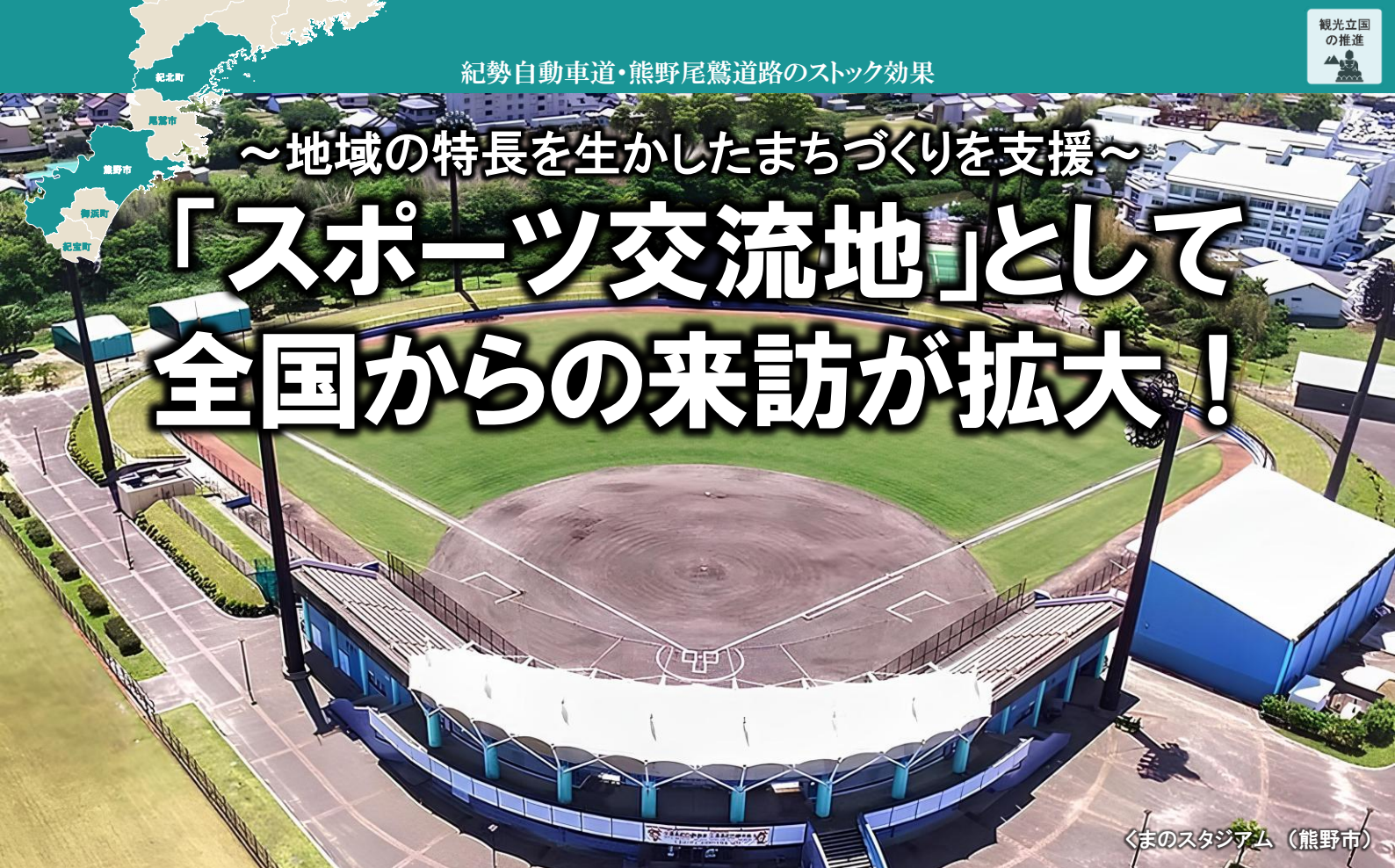
「那智勝浦町の声」



「串本町の声」

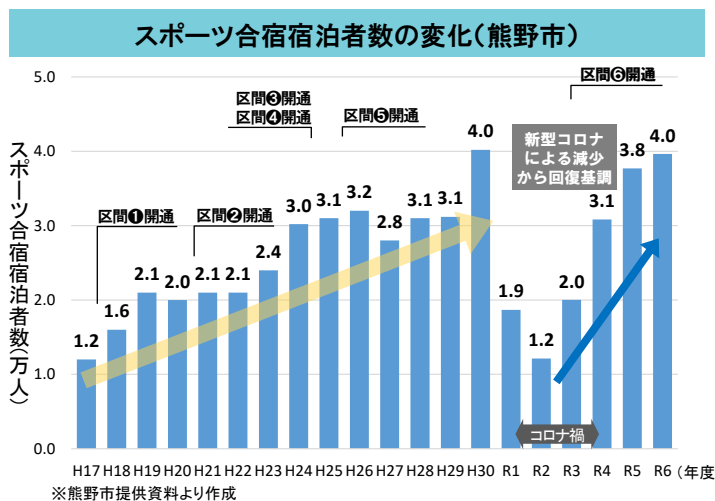
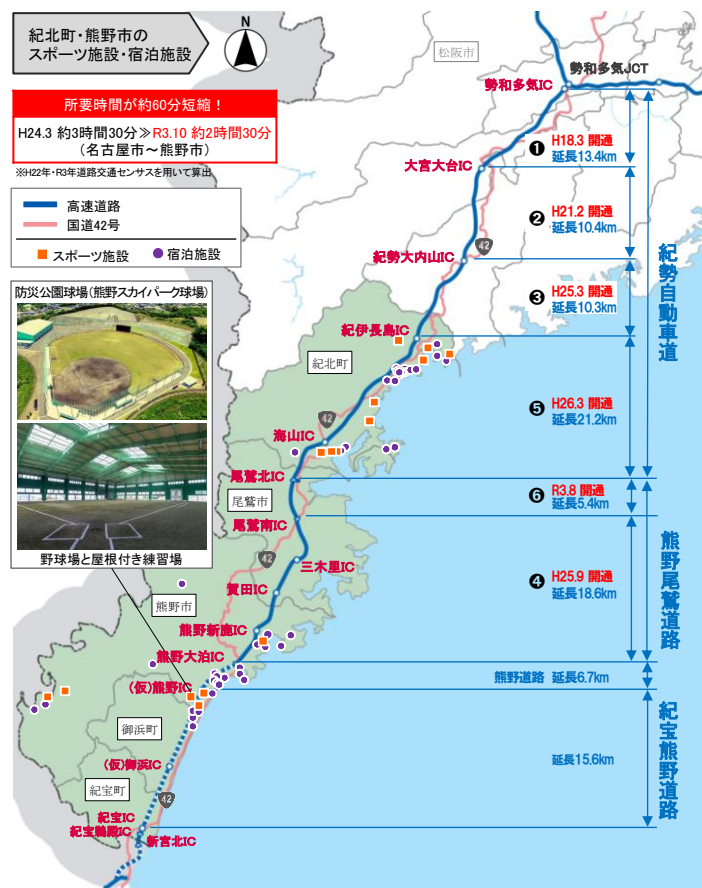
ロケット1回の打上げに伴い町内に1万人以上が来訪するなど経済効果は大きいと感じています。

将来的な打上げ回数の増加を契機に、観光誘客や周遊を促進し、**高速道路整備による交通利便性の向上と相乗効果**を発揮できればと考えています。



くまのスタジアム（熊野市）

- ❖ 高速道路の延伸に伴う交流圏域の拡大と温暖な気候条件を活かし、紀北町・熊野市では**スポーツ交流地としてのブランド化を推進**。
- ❖ ソフトボール、野球、サッカー、ラグビー、ソフトテニスなど、**様々な競技における全国規模の大会や合宿を多数受け入れており、宿泊や飲食をはじめ大きな経済効果をもたらしている**。



主なスポーツ大会(令和7年度 熊野市内開催)

名称	参加チーム数(参加人数)	開催時期
全国日本ガールズソフトボールリーグ選手権大会	46チーム(約1,200人)	7月
西日本大学女子ソフトボール選手権大会	32チーム(約1,000人)	8月
熊野市長杯大学女子ソフトボール大会	32チーム(約1,100人)	3月

※熊野市提供資料より作成

年間を通じて多くの団体が熊野市を訪れ、宿泊や飲食をはじめ大きな経済効果をもたらしています。高速道路整備で中京圏・関西圏からのアクセスが向上し、合宿等における市内滞在時間が増加するとともに、利便性の向上により地域外チームとの交流も活発に行われています。

熊野市商工・観光スポーツ課の声



- ❖ JA伊勢は、地域の温暖な気候を活かした柑橘類の生産とブランド化を推進し、近年、「三重南紀みかん」をタイ王国へ輸出。
- ❖ 高速道路の開通により、輸送時間の安定化や峠道の揺れによる荷傷みの軽減など物流環境が向上し、ブランド化に重要な果実の品質確保に寄与。



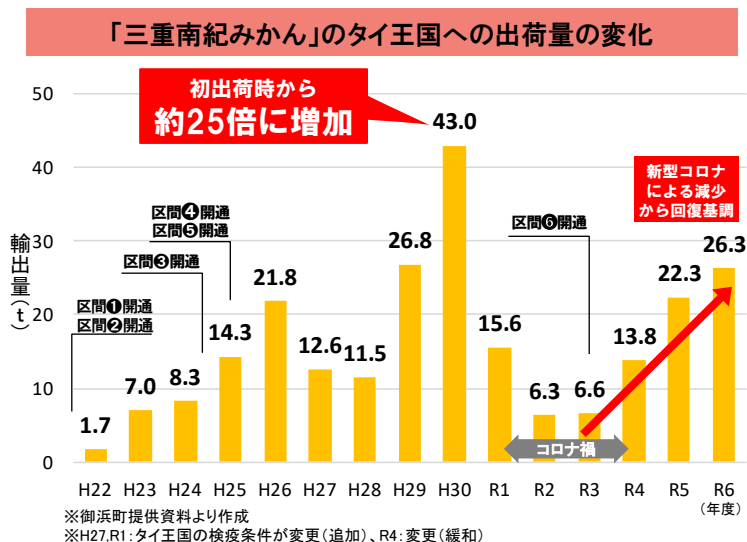
選果場から卸売会社までの輸送時間の誤差が少なくなったため、流通過程で仲卸加工に要する時間や量販店までの納入時間が読みやすくなり、**時間に対するロスが軽減**しました。

また、量販店等の取引先の**要請時間に合わせた出荷が可能**になったため、**取引先の拡大と売り場の確保**が可能となりました。

近年、高速道路開通と生産者の努力が合わさり、**傷み等のロスが減少**しました。



[JA伊勢の声]



道路構造の変化



峠道で急カーブが連続する国道42号



安定輸送が実現した紀勢自動車道



～迅速・安定供給可能な物流ルートの実現～ 海産物の 国内外の販路拡大を支援！

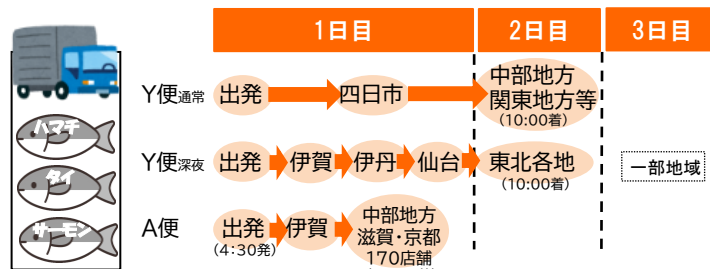
尾鷲の養殖ブリ(鮮魚)

- ❖ 尾鷲市にある尾鷲物産(株)は、**新たに養殖ブリを「鮮魚」として海外輸出を開始**するとともに、水産加工品の輸出拡大に向け約5億円を投資して急速冷凍保管庫を建設し、**高速道路を使って国内外の市場に毎日出荷**。
- ❖ 高速道路の整備により、鮮魚輸送に必要な速達性・定時性・安定性が確保され、市場への安定供給を支えている。
- ❖ **安定供給ルートの実現とあいまって、民間投資が拡大**するとともに、高速道路が**養殖ブリのブランド化や更なる販路拡大**など、地域産業活動を支援。

尾鷲物産(株)の出荷先・輸送ルート



尾鷲の魚を高速道路により全国の回転寿司店へ



【尾鷲物産(株) 担当者の声】

国内外の市場に、新鮮な水産加工品を安定した量と価格でお届けするため、**高速道路を使って毎日約13便の大型トラックで出荷**しています。
高速道路延伸に伴い、消費地へのアクセスが改善され、加工時間の増加により**様々なニーズに対応できるようになりました**。
また、遠隔地へのアクセス改善により、**物流効率アップにつながっています**。

出荷拡大に向け民間投資が拡大

H28.8	急速冷凍保管庫を建設
R7.4	製氷設備を建設



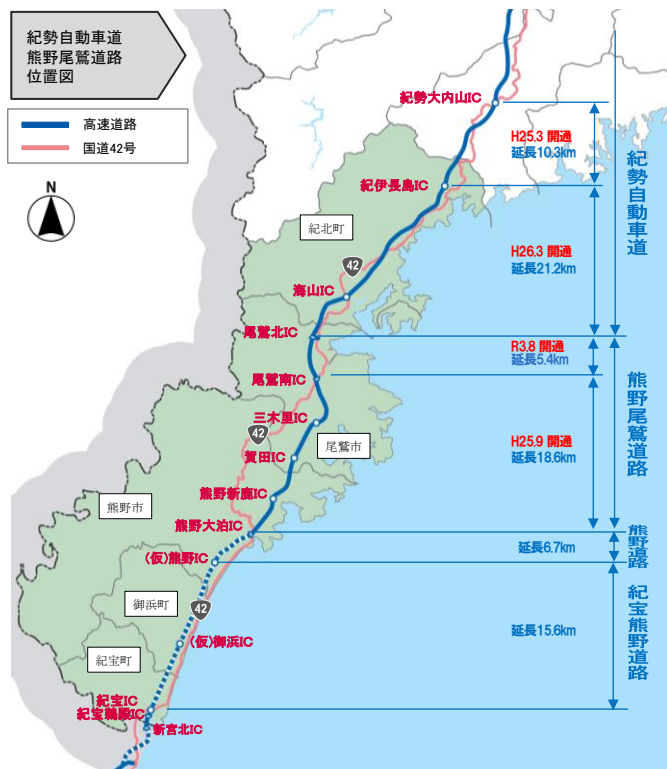
尾鷲物産(株) 急速冷凍保管庫

～地域企業が開通効果を実感～ 企業活動・業績がプラス！

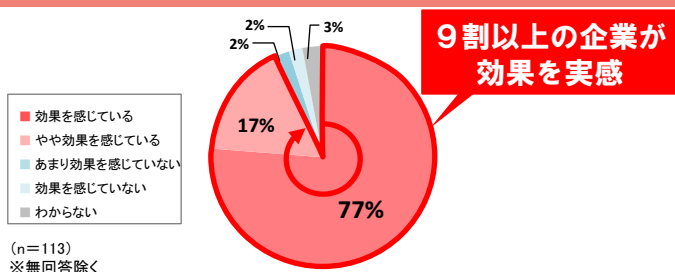


紀勢自動車道を通行する活魚車（紀北町）

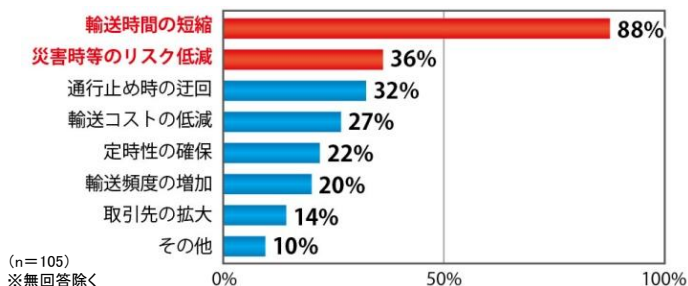
- ❖ 紀勢自動車道・熊野尾鷲道路の開通後に実施した調査では、東紀州地域の企業の9割以上が高速道路整備の効果を実感。
- ❖ 効果としては、「**輸送時間の短縮**」を実感する企業が最も多く、次いで「**災害時等のリスク低減**」が挙げられている。
- ❖ また、7割以上の企業が「**業績にプラスの影響があった**」と回答しており、高速道路の整備が地域企業の事業活動を支える基盤となっている。



開通による企業活動への効果の実感

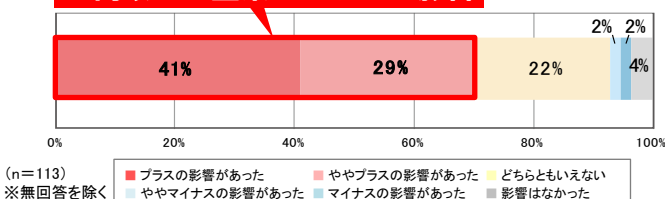


実感している効果



企業の業績への影響

7割以上の企業がプラスの影響



※紀勢国道事務所による東紀州地域の企業を対象にしたアンケート結果より作成
アンケート調査の概要

調査日：H27年11月6日(金)配布 同20日(金)回答締切

調査対象：(株)帝国データバンクに登録され東紀州地域に会社が位置し、業種が農業、林業、漁業、鉱業、製造業、運輸・通信業、卸売業に該当する企業

回収率：46.5%（配布：258社、回収：120社）

回答を得た業種の内訳：農業(8)、林業(2)、漁業(11)、鉱業(1)、製造業(41)、卸売業(38)、運輸・通信業(14)、不明(5)



～精密製品の安定輸送が実現～

事業拡大と雇用創出 を支援!

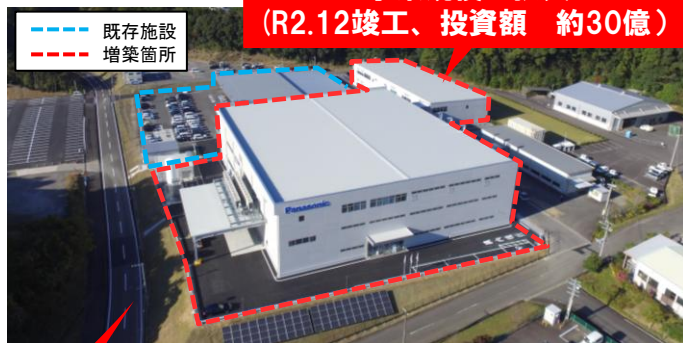


- ❖ 業界No.1のシェアを誇り、日本全国の家庭で使われているパナソニック製住宅用火災警報器を紀宝町内の工場で製造。
- ❖ 高速道路の開通により、**精密製品の安定輸送が可能となり、品質確保を支援。**
- ❖ **輸送インフラの整備を見据え、工業団地に進出するとともに増築により事業規模を拡大。**



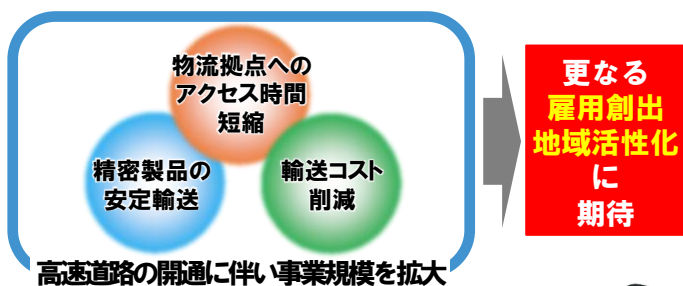
井内工業団地への進出

事業規模を拡大
(R2.12竣工、投資額 約30億)



井内工業団地に進出したパナソニック エレクトリックワークス電材三重(株)

**操業時（H27.8）からR5.4までに
雇用者が約220名増加**



高速道路の開通に伴い事業規模を拡大

自然豊かで製品の輸送インフラも充実してきたこの町で、雇用創出に貢献したい。



「パナソニック エレクトリックワークス
電材三重(株)の声」

東紀州地域高速道路整備効果

紀勢自動車道・熊野尾鷲道路は令和3年8月29日に全線開通し、

ストック効果のとりまとめについては、これまで

国・高速道路会社・県・市町協力のもと進めています。

東紀州地域では高速道路の開通以前より実施されてきた

自治体・民間による投資や、キャンペーン等の取組の結果、

観光入込客が過去最高を記録するなど、

様々なストック効果※が現れています。

高速道路の開通がもたらす様々な暮らしの変化や整備効果を

「国・高速道路会社・県・市町が一体」となって幅広く調査・分析する事で

「個々では見えなかった効果」などを把握し、それを広くPRする事により、

東紀州地域の更なる地域活性化・地方創生に寄与するものと期待します。

※ストック効果：整備された社会資本が機能することによって、継続的に中長期的に得られる効果



三重県



尾鷲市



熊野市



紀北町



御浜町



紀宝町



中日本高速道路(株)



国土交通省



高速道路開通を祝う行燈（熊野市）

東紀州地域高速道路整備効果検討会



三重県



尾鷲市



熊野市



紀北町



御浜町



紀宝町



中日本高速道路（株）



国土交通省